

大椎っ子、あすみっ子田んぼ 2010 田植え～草取り編

田植えをして約1ヶ月、苗が生長し、田んぼのまわりではナツアカネやシオカラトンボが飛びまわり、夏の生き物へと変わってきました。

畦や田んぼの中も雑草で覆われています。毎月1回、ご父兄の方々と作業していますが、今月は苗の生長を観察したり、田んぼを維持していく大変さを実感してもらったりすることを目的とし、子どもたちに草取りの作業を手伝ってもらいました。

大椎小学校は7月12日(月)、あすみ小学校は13日(火)に行われました。

梅雨空のあやしい天気でしたが、ご父兄や子どもや先生方とたくさんの人があつたため、雑草で覆われていた畦や田んぼの中はすっかりきれいになりました。草取りしながら、生き物観察をしたり、指導してくださった先生方と自然観察をしたりと初夏の生き物との触れ合いもできました。

地元の方々のご理解と、たくさんの方々のご協力のおかげで小学校田んぼを維持できています。ありがとうございました。子どもたちの感想文をご紹介します。(松下恵美子)

■大椎小学校

【田植えの感想】

◆私は、初めての田植えだったので、ちゃんときれいに植えられるか不安でした。でも、金谷さんが、「用意したロープの赤いしるしのところにくっつけるように植えると真っすぐになります」と教えてくれました。その通りに植えたら、ちゃんと、真っすぐになっていたの、とてもうれしかったです。田植えは、初めてだったけど、すごく、楽しかったです。(E.M)

◆最初に田んぼに入った時は、「なんだか気持ち悪いな。足がうまってしまいそうだな。」というのが、第一印象でした。すると、足がズボッとうまってしまい、「どうしよう。うまっちゃった！あれ？上の方は温かいのに、底の方は冷たいな。」と気付きました。こんな体験ができて、田植えは楽しかったです。おいしい米になってほしいです。(M.N)

◆田植えを初めてやりました。最初は大丈夫かな？と少し心配でした。最初に土の中に入る時、ぐちょぐちょしていて、いやだなあと思っていましたが、だんだん慣れてきて違和感がなくなってきました。これから苗の成長をじっくり観察し、おいしいお米を食べてみたいです！(A.T)

【草取りと自然観察の感想】

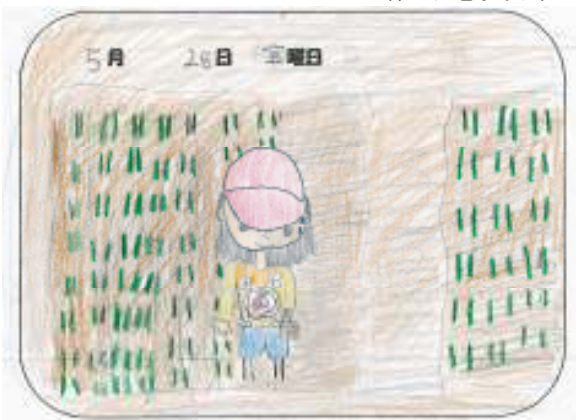
◆ぼくは谷津田で、ざっ草を取りました。ざっ草はとても多く、きりがありませんでした。とても苦労して作業をしたら、ほとんどの草が取れました。その後、金谷さんが、「取ったざっ草は肥料になるんだよ。」と言っていました。ぼくは、ざっ草が肥料になるということを知りました。(R.T)

◆ぼくは、田んぼの中の雑草取りをしました。1番深い田んぼの草取りをしました。時々、深いところがあるので半ズボンでもめくらないと汚れそうでした。深いので、足を抜くことも大変でした。金谷さんが言うには身長が大きい人がうもれやすいと言っていました。ぼくはグループの中で1番背が高かったので、やばいと思いました。(T.I)

◆今日は田んぼの草取りをしに谷津田にきました。田植えのときには小さかった苗が、1ヶ月で大きく成長していました。苗の成長はものすごく早いんだなと思いました。これからもときどき、平日に田んぼを見に行きたいです。(K.Y)

◆自然観察では、トンボやちょうが田植えのときよりもたくさん飛んでいた。植物も稲と同じように生長していた。虫もたくさんいた。草刈りの作業は田植えの時よりもたくさんはえていたうえに、とても生長していたので、大変だった。トンボやちょうがたくさん飛んでいたり、植物がたくさん花をつけていたりして、季節が変わったなと思った。(A.Y)

◆ぼくは、自然観察の時にヘビを見ました。YPPの人に聞いたら、やまかがしという、まむしより強い毒を持つヘビでした。でも顔はかわいかったです。田んぼの近くにはいろいろな生物がいることがわかりました。(N.K)



■あすみが丘小学校

【草取りと自然観察の感想】

◆ミミズがいっぱいいることやコオイムシという虫がいることがわかってよかったです。草むしりで、わたしは田んぼの草むしりをしました。すごくふかかったのではだしてやったら、何回か足がはまってしまって何回もころびそうになってしまったけど、田んぼの草とりはおもしろかったです。(Y.J)

◆草をかりに田んぼへいったら、草がたくさんはえていてびっくりしました。草をかったら、カエルやいろいろな生きものがいました。私はカマキリとカエルをさわりました。カエルには種類があって私がさわったのはアカガエルです。とぶ力が強くてさわるのに大変でした。あすみ田んぼには、いろいろな植物や生きものがいました。私はすごいなあと思いました。(N.N)

◆草とりをして、私は田んぼの中だったのですが、やはり草とりはすごく大変で、大ぜいでやらないと終わらない作業でした。田んぼ作りの人の気持ちがよくわかりました。自然観察では、見たことのない生きものがたくさんいたり、トンボもクモもカエルも、たくさんの生きものがいました。特にすごいと思ったのはコオイムシです。コオイムシは背中に卵を持っていてすごいなあと思いました。(N.T)

◆あすみ田んぼ作りでは、草取りをやりました。雑草がたくさんあって、取るのは大変だったけれど、きれいになってよかったです。自然観察では、いろいろな生きものが見られました。ザリガニは赤いザリガニだったのでアメリカザリガニだと教えてくださいました。他にも色々な植物も見せてくださいました。うめたら肥料になるという植物もありました。次に田んぼに行く時がんばりたいです。(N.G)

◆トンボがはっぱにとまっていて、なにかな、と思ってたら、糸トンボで、あんなに細いんだ、と思いました。カエルのおなかをさすってうっとりしているところは、かわいかったです。(A.N)

◆2回目のあすみ田んぼは草取りでした。草取りは米作りにとって大事な作業なので、みんなで協力して、がんばってやりました。広場で終わりの話をする時には、地面(草がはえているところ)がきれいになっていました。気持ちがよかったです。次のあすみ田んぼでは「いねかり」なのでその時はがんばりたいです。(A.K)



◆谷津田いきもの図鑑 No. 44

コナギ

田んぼに生える雑草の中でヒエなどと並んでお百姓さんに一番嫌われているのがコナギです。下大和田でも小山でも稲株の間をびっしり覆うようにものすごい数のコナギが生え、夏場の草取りのほとんどはコナギ取りとなってしまいます。葉が光沢のあるハート型で、近縁のホテイアオイによく似ています。ホテイアオイのように葉柄(ようへい、葉の付け根にある茎のように見える棒状の部分)がふくれることはありませんが、中は小さな部屋に分かれた空洞になって浮きやすくできています。芽が出た頃の細長い形の葉は生長と共に丸くなります。

秋になると紫色のかわいらしい花を付けます。そのせいかホームセンターで観賞用に売られているのを見たことがあります。田んぼに来ればまさに嫌と言うほど生えているのですが。

コナギの一つの実には数千個の小さな種がびっしり詰まっています。種はとても軽くできていて、水に浮いて広い範囲に散布されます。しかも土の中に埋もれた種は10年以上も腐ることなく生きながらえるそうです。コナギを一度生やして種を付けさせてしまうとその後は取っても取っても毎年出てくるのはこうした特徴が種にあるからです。

コナギは田んぼの代かきをして土の中が酸素不足にならないと発芽しないそうです。確かに田んぼ以外の水辺でコナギを見ることはほとんどありません。田んぼでしか生えない草、稲作と共に広がってきた草なのです。

湿地に生える水草にミズアオイが知られていますが、その古名をナギ(菜葱)と呼び、食用にしていたそうです。ミズアオイによく似ていて小さなことからコナギと呼ばれています。コナギもかつては食用にされていたそうです。うまい調理法を見つけたらこの雑草を有効活用できますね。(高山 邦明)



稲株の間にびっしり生えたコナギ。若い葉は細長く、生長と共にハート型になる(小山にて2010/7/31 撮影:高山邦明)



里山たんけんレポート

第 126 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2010年7月4日(日) 晴れ

今にも降りそうな空模様でしたが次第に晴れてたくさんの生きものが姿をみせてくれました。

谷津にはオオヨシキリの声が絶え間なく響いていました。シオヤトンボ、カワトンボ、ヤマサナエは少なくなりましたが替わってシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ノシメトンボ、ナツアカネが出ています。林縁ではオニヤンマが羽化していました。そのすぐ近くには脱殻が数個ありました。田んぼの中ではアジアイトトンボが静かに飛び交い、ハイイロゲンゴロウが元気一杯泳ぎ回っていました。近くではコケオトギリやアゼナが咲いていました。ヨシを刈った湿地にヌマトラノオがたくさん咲いていました。

今年は樹液に来るカブトムシやクワガタムシなど出現が遅いのかカブトムシの雌雄1匹ずつしか見られませんでした。でも、クヌギ、ヤナギの樹液は発酵してアルコール臭をただよわせ、ルリタテハ、ヒカゲチョウ、サトキマダラヒカゲなどの蝶、ヨツボシオオキスイ、ヨツボシケシキスイ、マダラアシゾウムシ、カナブン、シロテンハナムグリなどの甲虫の仲間、ホシアシナガヤセバエなどのハエの仲間、オオスズメバチ、コガタスズメバチなど樹液酒場の常連は集まっていた。

桑では終齢になったカイコそっくりのクワゴと立派な触角を持ったクワカミキリが見られました。

(参加者 大人 14 名、子ども 6 名； 報告：網代春男)

第 111 回 下大和田 YPP「畦の草取り」

2010年7月24日(土) 晴れ

梅雨が明けたと思ったら猛烈な暑さの毎日。そんな中、田んぼの草取りをしました。6月は田んぼの中の草を取りましたが、今回は畔の草刈りです。前回と同じように最初にどんな草が生えているのかみんなで観察をしました。谷津田の草花は7月が季節の変わり目です。カントウヨメナやイヌタデなど秋の田んぼを彩る花が開き始めていました。暑いので観察を終えてから一度林に戻って水分補給をし、それから作業のスタートです。畔は草ぼうぼうで田んぼとの境がわからないほどでした。スタッフが研いで切れ味のよい鎌でサクッ、サクッと刈っていくと畔の形がしっかりと見えて気持ちいいのですが、いかんせんこの暑さ。汗が全身から噴き出します。熱中症になったら大変なので30分ごとに休憩をとって、2回に分けて作業をし、昼前には刈り終えることができました。田んぼは見違えるほどきれいになりました。林では鎌の研ぎ方を教えてもらい、めいめいが使った鎌研ぎにも挑戦しました。



暑い中、汗びっしょり。お疲れさまでした(撮影：田中正彦)

田んぼの中はコナギがびっしりと生えていてもう手をつけられそうにない状態ですが、イネはしっかり育っています。除草剤がなかった時代、何度も繰り返す夏場の草取りが農家にとって一番大変な作業だったそうです。それを実感した一日でした。でも、作業を終えた心地よさは格別ですね。

(参加者 大人 18 名、小学生 5 名、幼児 3 名；報告：高山邦明)

第 57 回 小山町 YPP「田の草取り」

2010年7月10日(土) 晴れ

中休みがなくずっと曇りや雨が続いた今年の梅雨ですが、この日は久しぶりに晴れてくれました。“草取り”という名前が魅力的でないのか参加者が少なかったのですが、小山で今年学校田んぼをしている大椎小学校、あすみが丘小学校の子どもたちが大勢来てくれました。田んぼに稲が植わっていて泥んこ合戦ができないので、前回に比べるとちょっとおとなしめ。でも、素足で田んぼに入って草を取ったり、魚や虫を探したり、にぎやかに田んぼを楽しんでいました。田んぼの草はコナギやヒエなどが元気いっぱい、場所によっては稲が覆い隠されるほどでしたが、一枚の田んぼはきれいにすることができました。



谷津ではニイニイゼミが鳴き始め、セリ、アキノタムラソウ、ハキダメギクなど夏から秋の草花が開花しています。ツバメがやけににぎやかだな、と思ったら今年生まれの子連れの家族でした。

(参加者 大人 3 人、小学生 7 人；報告：高山邦明)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月11日 セリ、ハキダメギク、アキノタムラソウなど夏～秋の草花が開花。羽化したてのオニヤンマを見る。ニイニゼミも鳴き、すっかり夏の谷津の様相。稲の間にナガコガネグモの子どもが網を張っていた(高山)。
- 7月14日 上空をサシバが飛翔(松下) 7月19日 ヤマユリが大きな花を開いていた(高山)
- 7月25日 黒米が出穂。日陰の水路の上をハグロトンボが舞う(高山)。7月27日 学校田んぼでコシヒカリが出穂(松下)
- 7月31日 ニイニゼミに加え、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシも鳴き始めセミの全種が揃う。今年もクマゼミも鳴いていた。アキカラマツ、ヒヨドリバナ、ヒシが開花(高山)。

下大和田

- 7月8日 クヌギ酒場にたくさんの虫たちが来ていた。カブトムシは例年より少ないようですが7月半ばになってようやく見られるようになった。どうしたわけか、ノコギリクワガタは姿を見せていない。8月に期待(網代)。
- 7月24日 畦にカントウヨメナやイヌタデが咲く。コオニヤンマが飛んでいた。黒米・コシヒカリが出穂(網代・高山)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

大切なお知らせ

先月に続き8月も下大和田でいつもお借りしている駐車場が使用できなくなりました。お手数ですがバスを利用して下さいませようご協力をお願いします。どうしても車を使う必要がある場合には事前にちば・環境情報センターまで電話(043-223-7807)あるいはメール(hello@ceic.info)でご連絡をお願いします。

▼第112回 下大和田 YPP「かかしづくり」

恒例のかかしづくりです。生きものにぎわう田んぼに今年も無事収穫がありますようお願いを込めたかかしを作ります。

日時: 2010年8月21日(土)、10:00~14:00、小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)

集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円)

持ち物: 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、もしあればかかしに着せる古着など。

参加費(資料代等): ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第128回 下大和田9月の谷津田観察会とごみ拾い

セミやトンボの身体のしくみを調べます。

日時: 2010年9月5日(日) 観察10~12時 午後は田んぼの作業など自由活動 *小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(下大和田 YPP に同じ)

集合: 下大和田 YPP に同じ

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム 共催: ちば環境情報センター

▼第58回 小山町 YPP「かかしづくり」

小山でもかかしづくりをします。生きものにぎわう田んぼに今年も無事収穫がありますようお願いを込めたかかしを作ります。

日時: 2010年8月22日(日) 10:00~12:30 *小雨決行

場所: 千葉市緑区小山町 リンドウ広場(ご連絡いただければ地図をお送りします)

持ち物: 飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、もしあればかかしに着せる古着など。

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば環境情報センター

編集後記 今年も稲穂が出るのが例年よりも早いようです。ミンミンゼミやツクツクボウシの鳴き始めもいつもよりも早く記録されました。一方でノシメトンボやマユタテアカネなど赤とんぼの仲間(アカネ類)の羽化が遅く、数が少ないように思われます。4~5月の低温・日照不足、中休みのなかった梅雨、その後の猛暑と明らかに異常気象が生きものたちのリズムを狂わせているようです。いつもと違う季節の進み具合に心穏やかでない今年の夏です。(高山邦明)

